

事業所名		プレジョブサポート 九千部塾						支援プログラム（参考様式）						作成日		R6 年		12 月		1 日					
法人（事業所）理念		法人理念：『皆が“ふつうの生活”を』という基本理念をもとに、障害があっても一般の人々が経験していることを“ふつう”の感覚で取り組めるよう支援する。 事業所理念：中学・高校という早期の段階から就労に向けた準備を始めることで将来の選択肢を増やすことができる。加えて自立（親亡き後）を見据え、現実的かつ必要な日常生活スキルを地域での実践を通して獲得する。																							
支援方針		『衣・食・住』（日常生活スキル）と『移・職・習』（就労準備スキル）の2つの“い・しょく・じゅう”を基本とした支援内容を実施する。主に平日（学校日）には生活能力スキル獲得支援、休日（学校休校日）は協力機関（一般企業、就労支援施設等）に出向し、職業見学、体験実習を定期的に実施することでの就労準備支援を行う。利用者の得意、不得意、好き、嫌い等を含め、まずは実際に取り組み（トライ）＆失敗を含めた経験（エラー）の繰り返しにて選択肢を増やしつつ適正を見極めていく支援を行う。																							
営業時間		（平日） （休校日）						9 8		時 時		0 30		分から 17		時 時		0 30		分まで		送迎実施の有無		あり	
		支 援 内 容																							
本人支援	健康・生活	衣食住を通じた活動プログラム：衣に関しては、①洗濯の実施（洗濯機の使い方）②洗濯物干し③衣類たたみ④衣類の収納等。食に関しては①食育②調理③食事マナー④食器洗い等。住に関しては①掃除（整理整頓）②買い物③余暇時間の過ごし方④整容・身だしなみ等。基本的には事業所事業所内で基本的な方法を学び繰り返し訓練する。その後、家庭（保護者）との協力と情報共有を行い実際の生活圏で実践してもらうことで定着できるよう支援する。																							
	運動・感覚	触覚刺激：農作業体験等を通して水、砂、土、砂利などさまざまな質感の素材に直接触れる機会を設け、触覚に対する刺激に慣れる訓練を行う。感覚過敏な利用者には段階的に触覚刺激に慣れるようサポートし、その他の方法として手袋等の補助道具を使用することで過敏刺激等を軽減できるよう工夫する。 前庭感覚訓練：実生活を想定し、自転車の操作方法を学び実践することでバランス感覚や体の動かしを体得する。また、障害者スポーツ大会への参加を目標として定期的な運動時間の確保を行い、体力の向上や総合的な運動能力を高める。さらに外部からダンス講師を招きリズム感覚や細かな運動調性能力の向上にも努める。																							
	認知・行動	認知スキルの強化：記憶、注意力、問題解決能力などの向上を目指すトレーニングを行う。 行動支援プログラム：SSTやロールプレイを実践することで、状況に応じた行動や言葉使い（TP0）ができるよう行動を強化・支援する。 社会的スキル訓練：マナー講習を受講したスタッフによる基本的な社会人マナーを学ぶ機会を提供することで、就労の際に必要な基礎的マナーを習得する支援を行う。																							
	言語 コミュニケーション	状況に応じた対応力の強化：SSTを用いた状況設定問題に取り組むことで場面に応じた対応方法を学ぶ機会を提供する。また相手とのやり取りの中での説明や自己表現が苦手な利用者に対しては5W1Hを用いた表現方法が定着できるよう繰り返し練習できる環境を提供する。 ロールプレイ：買い物体験など日常生活の場面を想定したロールプレイを行い、会話の練習や社会的なやり取りの訓練を行う。 語彙力の強化：実生活に必要な語彙力（漢字、アルファベット等）の向上を図るため日常的に学習支援を行う。																							
	人間関係 社会性	協力型活動：チームを組んで行う活動（例 各チームごとにノルマを課し、目的を達成する活動）やスポーツを通し他者と協力する楽しさや達成感を感じる機会を提供する。 共同制作活動：絵画や工作など、複数人で一緒に取り組む制作活動を行うことで、他者の意見を聞き入れることや、自分の意見を伝えるスキルを育てる。 言語、コミュニケーション同様、SSTを通じて者との関わり方を学ぶ機会を提供する。																							
家族支援		モニタリング時には1時間程度の時間を確保し、家族の意向、本人の家庭、学校の状況など聞き取りを行い支援に反映。基本的には営業時間内であれば相談事は電話やメール等でやり取りを行う。また送迎の際の急な個別相談に対しても、時間を確保し相談にも応じる。										移行支援				実際の就労目前の利用者・保護者に対しに、当事業所を通して経験できた内容や結果などの情報を提供する。提供したデータ等を比較参照しながら利用者本人、保護者が納得し、選択ができるようサポートする。									
地域支援・地域連携		地域の企業や福祉施設と協力し企業見学や就労体験を行う中で、清掃活動や地域の行事の手伝い等を行うことで相互理解を深める。										職員の質の向上				朝礼、終礼で困りごとの引き出しおよび解決策の提案。毎月のミーティングでの利用者別のかかわり方や支援の行き詰まりを共有。外部講師による研修を実施する。									
主な行事等		季節に応じたイベントを実施。（他事業所と協力する夏祭り、クリスマス会、餅つきなど） 長期休暇（春、夏、秋、冬）を活用し定期的に一般企業や社会福祉関連施設等への企業見学、就業体験を実施する。																							